

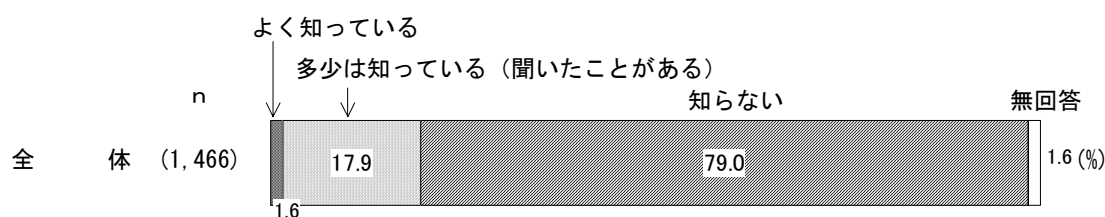
## 2 健康と福祉について

### (1) 「新たな地域福祉像」の認知度

◇『知っている』は約2割。「知らない」が約8割

問9 あなたは、平成16年3月に県が策定・公表した「千葉県地域福祉支援計画」で示された「新たな地域福祉像」（誰もが、ありのままに、その人らしく、地域で暮らすことができる）について知っていますか。（○は1つ）

<図表2-1> 「新たな地域福祉像」の認知度



「新たな地域福祉像」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(1.6%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(17.9%)を合わせた、『知っている』(19.5%)が約2割となっている。一方で、「知らない」(79.0%)は約8割で最も多い。(図表2-1)

[参考] 平成17年度・平成18年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

	n 全体	『知っている』	「知らない」
平成17年度調査	1,081	21.3	78.0
平成18年度調査	1,467	20.7	72.8
今回調査	1,466	19.5	79.0

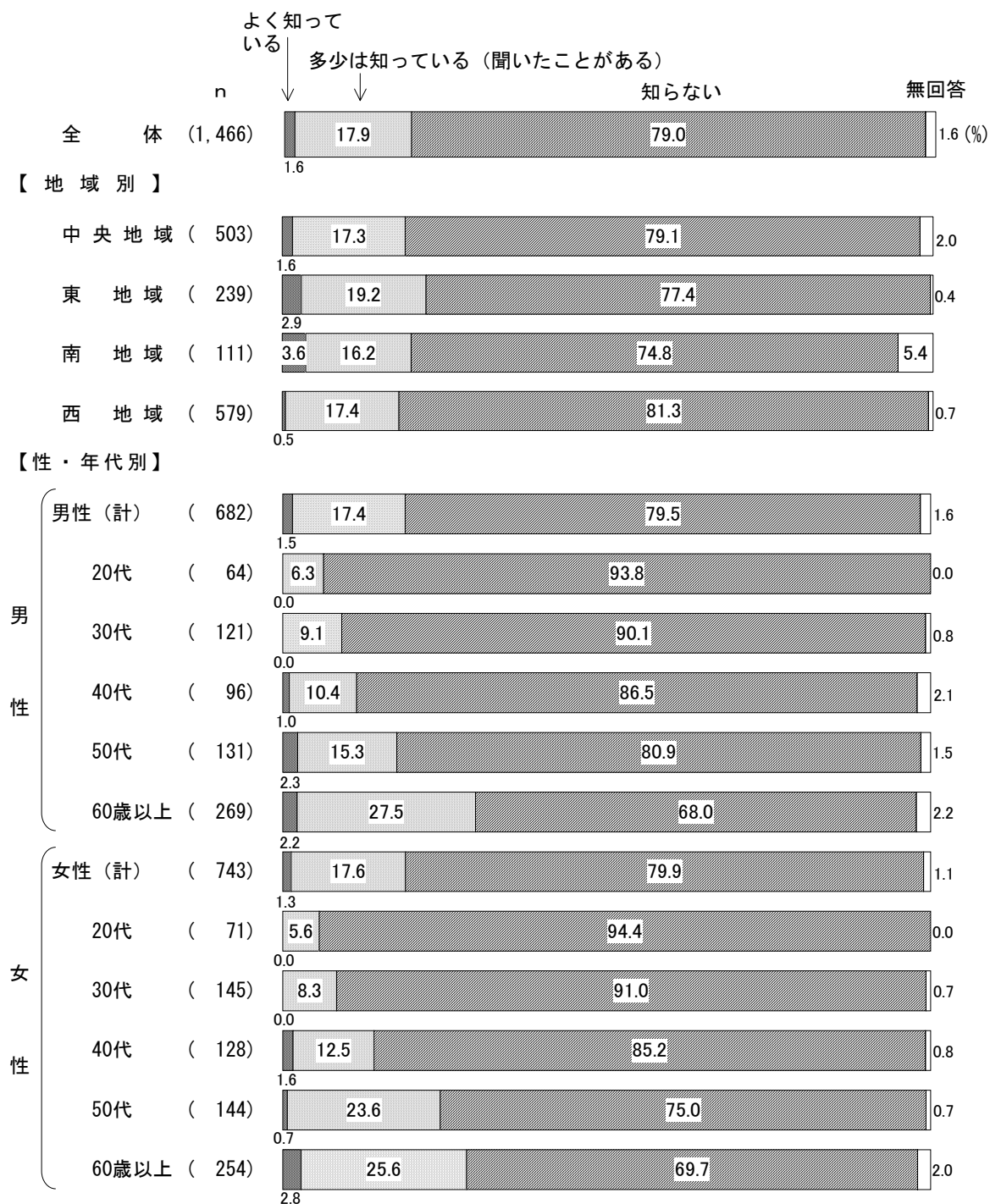
#### 【地域別】

『知っている』に大きな差はないが、“西地域”(17.9%)で約2割と他の地域に比べ低くなっている。(図表2-2)

#### 【性・年代別】

『知っている』は、男女ともに年代が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられ、60歳以上(男性29.7%、女性28.4%)では約3割となっている。(図表2-2)

<図表 2-2> 「新たな地域福祉像」の認知度／地域別、性・年代別

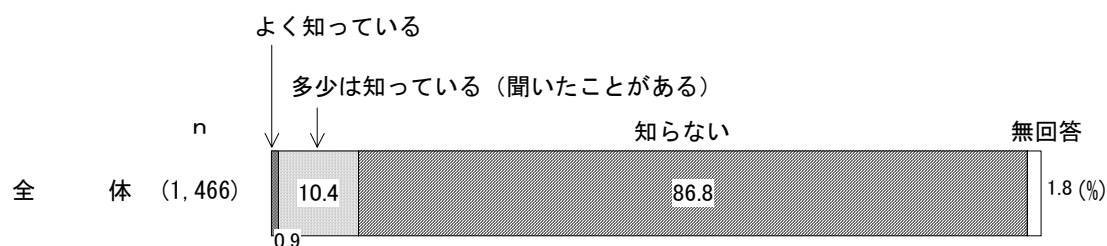


## (2) 「健康福祉千葉方式」の認知度

◇『知っている』が1割台。「知らない」は8割台半ば

問10 あなたは、「千葉県地域福祉支援計画」など各種計画やアクションプランの策定にあたり用いられた「健康福祉千葉方式」（対象者横断的な施策展開と当事者を含めた民間と行政の協働を特徴とした健康福祉施策の推進手法）について知っていますか。（○は1つ）

<図表2-3> 「健康福祉千葉方式」の認知度



「健康福祉千葉方式」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(0.9%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(10.4%)を合わせた『知っている』(11.3%)は1割台となっている。一方で、「知らない」(86.8%)は8割台半ばで最も多い。(図表2-3)

[参考] 平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『知っている』	「知らない」
平成18年度調査	1,467	13.0	84.4
今回調査	1,466	11.3	86.8

### 【地域別】

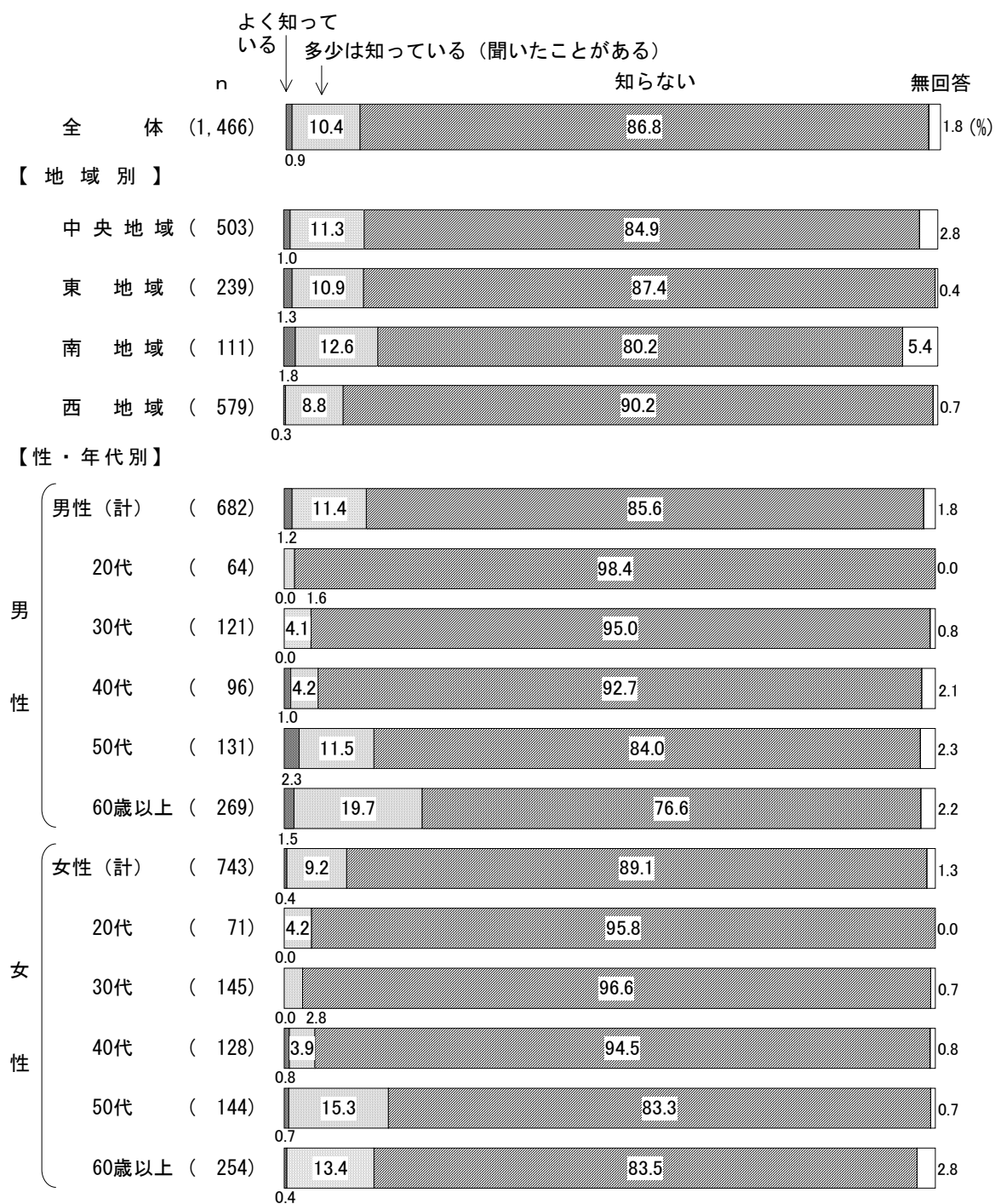
地域による特に大きな違いはみられない。(図表2-4)

### 【性・年代別】

『知っている』は男女ともに50代以上で1割を超え、60歳以上の男性(21.2%)は2割を超える。

(図表2-4)

<図表2-4> 「健康福祉千葉方式」の認知度／地域別、性・年代別



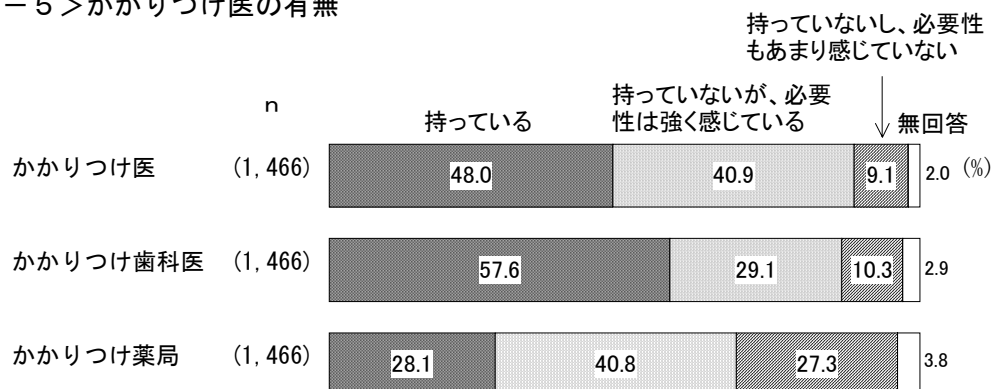
### (3) かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を約6割、かかりつけ医を約5割が持っている

問11 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

<図表2-5>かかりつけ医の有無



かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は、歯科医（57.6%）で約6割、医師（48.0%）で約5割だが、薬局（28.1%）では約3割である。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は、医師（40.9%）と薬局（40.8%）で4割となっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は、薬局（27.3%）で約3割となっている。

(図表2-5)

[参考] 平成17年度・平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n		「持っている」	「持っていないが、必要性は強く感じている」	「持っていないし、必要性もあまり感じていない」
平成17年度調査	1,081	かかりつけ医	49.6	39.3	10.0
平成18年度調査	1,467		47.7	42.3	7.4
今回調査	1,466		48.0	40.9	9.1
平成17年度調査	1,081	かかりつけ歯科医	55.0	30.2	11.4
平成18年度調査	1,467		57.3	29.2	8.6
今回調査	1,466		57.6	29.1	10.3
平成17年度調査	1,081	かかりつけ薬局	27.1	39.3	26.7
平成18年度調査	1,467		27.9	40.4	24.7
今回調査	1,466		28.1	40.8	27.3

### 【地域別】

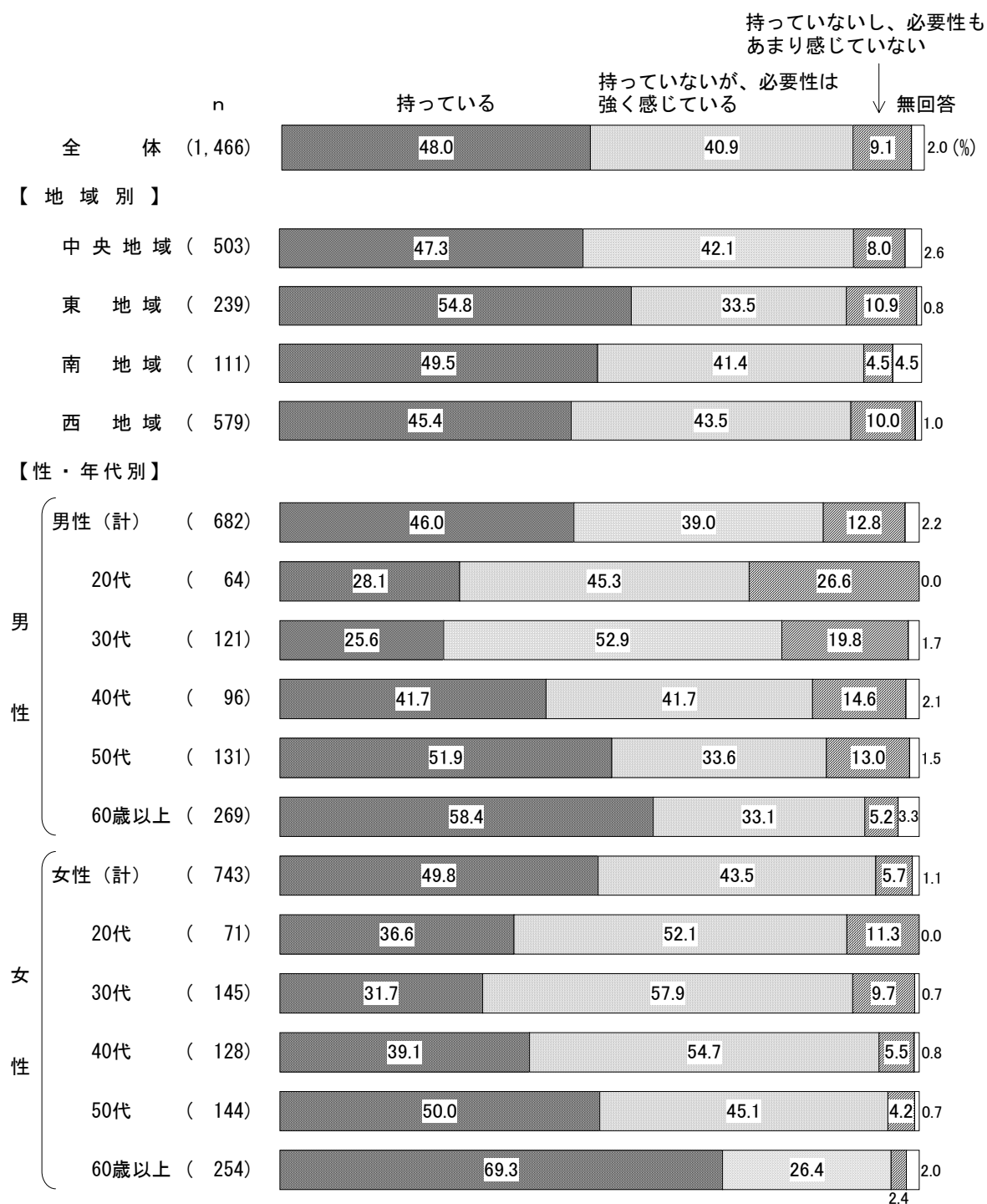
かかりつけ医を「持っている」は、“東地域”（54.8%）で他に比べ高い。かかりつけ歯科医を「持っている」は“南地域”（64.9%）が高く、かかりつけ薬局を「持っている」も“中央地域”（31.0%）に次いで“南地域”（28.8%）が高くなっている。（図表2-6）

### 【性・年代別】

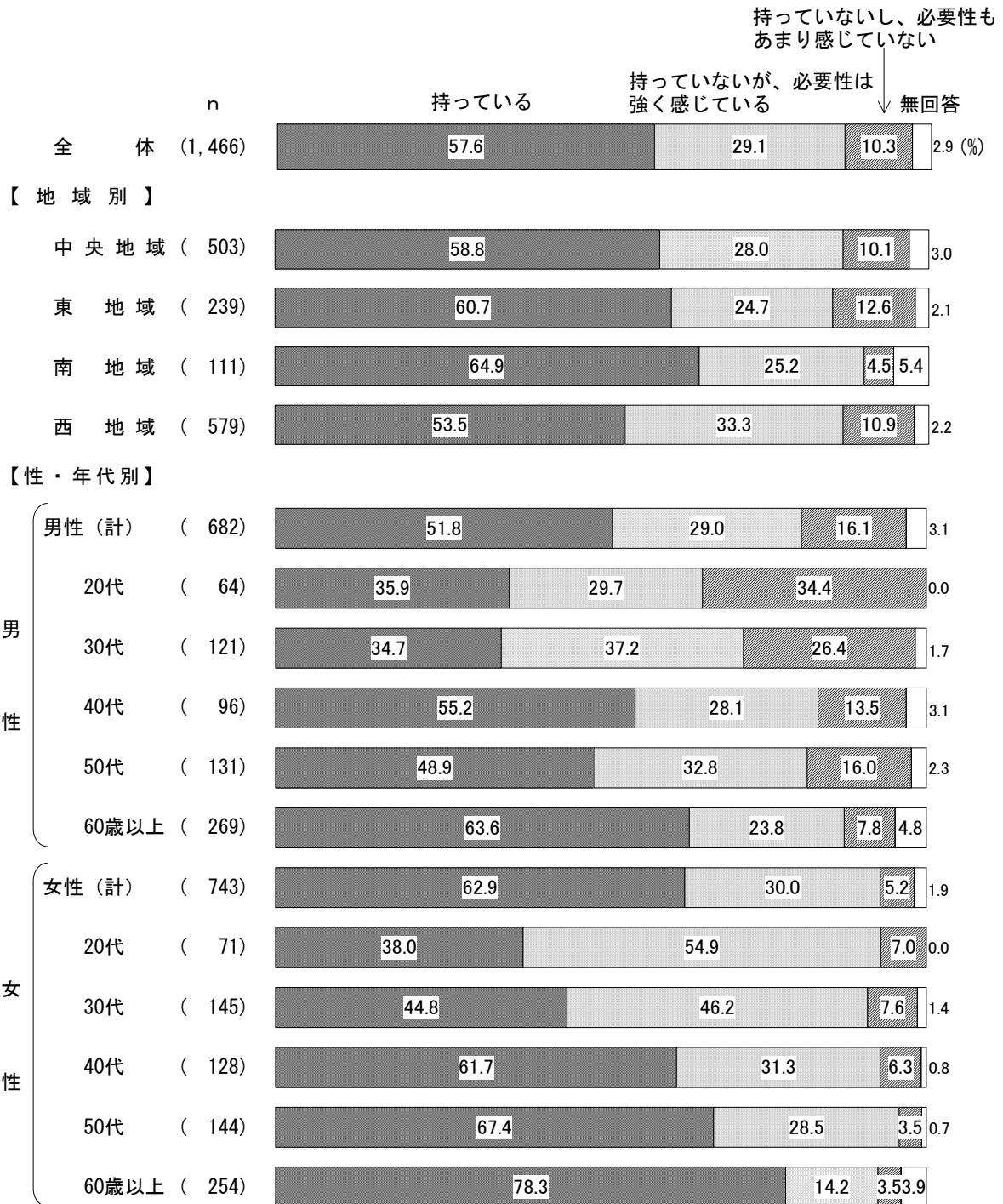
かかりつけ医を「持っている」は男女とも50代以上が5割を超えている。かかりつけ歯科医を「持っている」は男性60歳以上、女性の40代以上で6割を超え女性の60歳以上（78.3%）では約8割となっている。かかりつけ薬局を「持っている」は女性の60歳以上（48.0%）が約5割と高いがその他の年代は3割台以内である。（図表2-6）

<図表 2-6> かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別

《かかりつけ医》

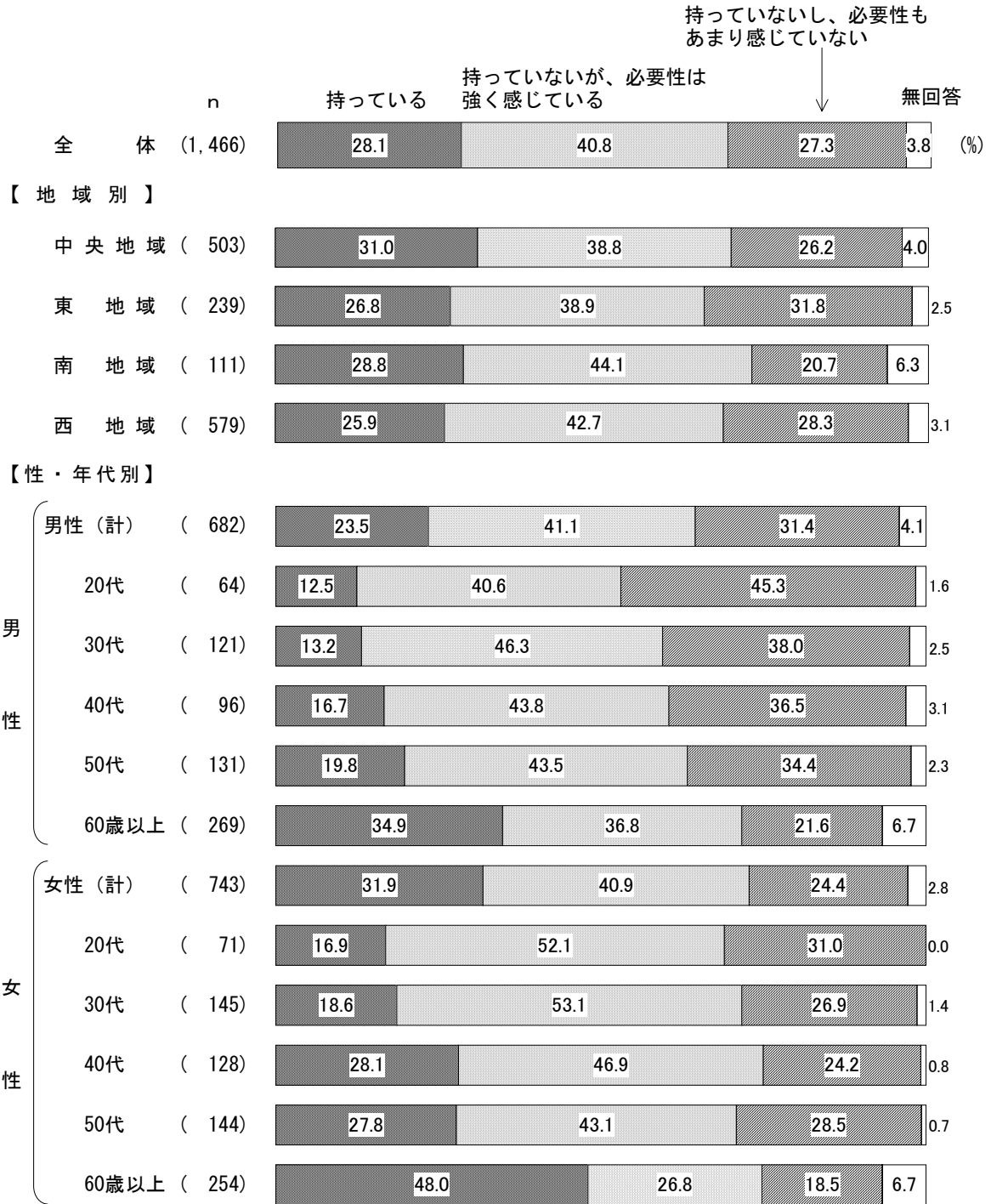


《かかりつけ歯科医》



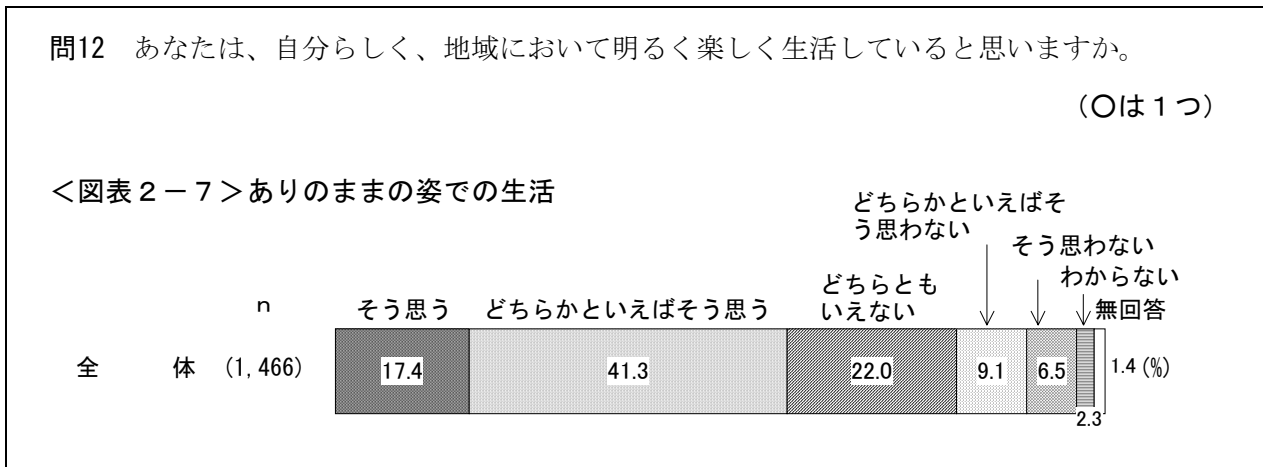


《かかりつけ薬局》



#### (4) ありのままの姿での生活

◇『そう思う』が約6割



自身がありのままの姿で生活していると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.4%)と「どちらかといえばそう思う」(41.3%)を合わせた『そう思う』(58.7%)が約6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.1%)と「そう思わない」(6.5%)を合わせた『そう思わない』(15.6%)は1割台半ばとなっている。(図表2-7)

[参考] 平成17年度・平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	53.9	15.5
平成18年度調査	1,467	56.7	15.8
今回調査	1,466	58.7	15.6

#### 【地域別】

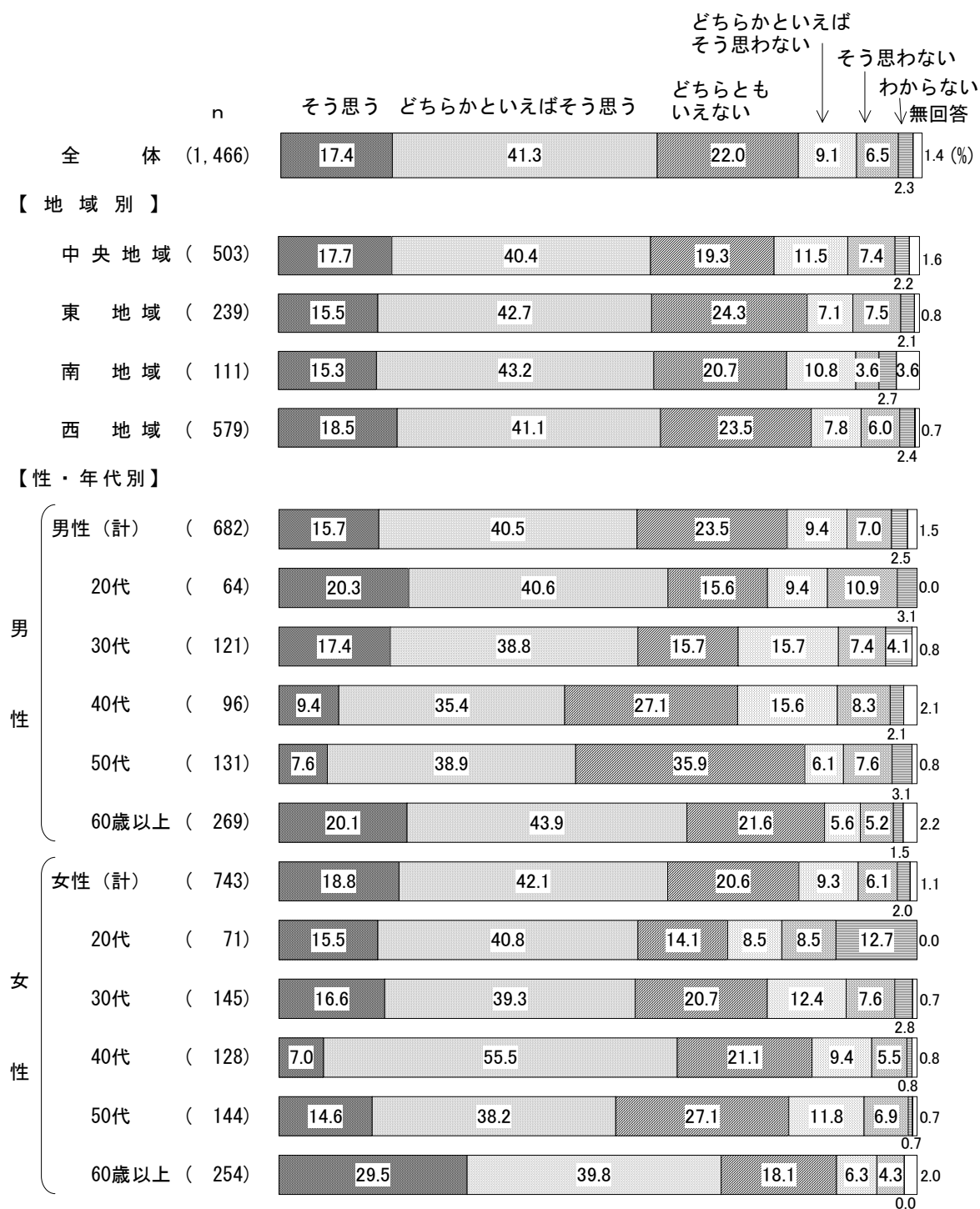
『そう思う』は“西地域”(59.6%)が約6割で、他の地域に比べて高くなっている。

(図表2-8)

#### 【性・年代別】

男性の40代・50代で『そう思う』が低くなっている。『そう思わない』は男性の40代(23.9%)、男性の30代(23.1%)が2割台半ばで、他の年代に比べて高い。(図表2-8)

<図表 2-8>ありのままの姿での生活／地域別、性・年代別

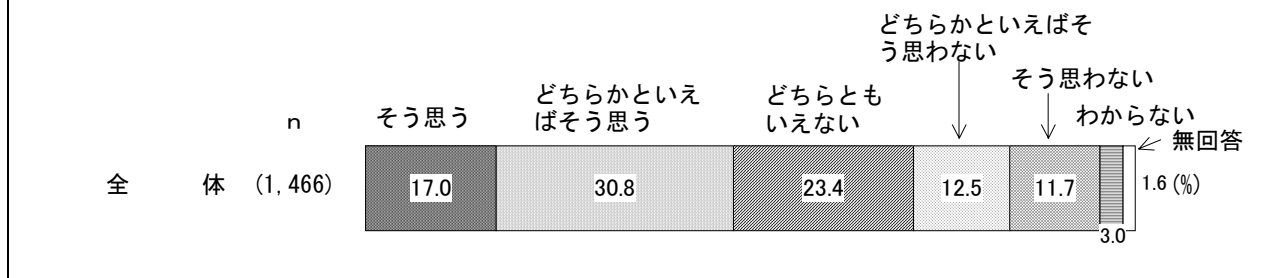


## (5) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が約5割

問13 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。(○は1つ)

<図表2-9>健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.0%)と「どちらかといえばそう思う」(30.8%)を合わせた『そう思う』(47.8%)は約5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.5%)と「そう思わない」(11.7%)を合わせた『そう思わない』(24.2%)は2割台半ばである。(図表2-9)

[参考] 平成17年度・平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	42.1	26.1
平成18年度調査	1,467	43.1	27.6
今回調査	1,466	47.8	24.2

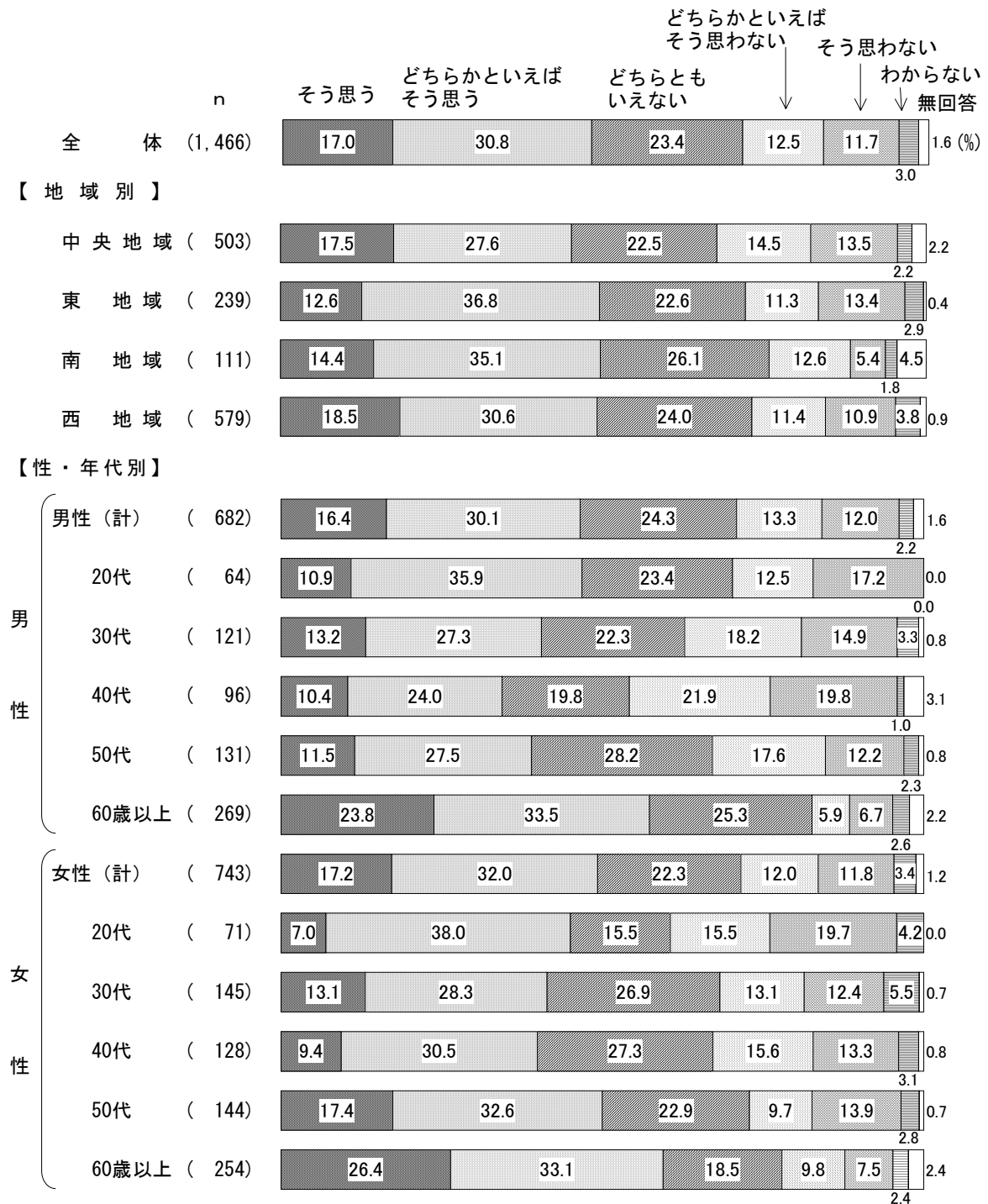
### 【地域別】

『そう思う』は地域による差異は見受けられない、『そう思わない』は“中央地域”(28.0%)で約3割となっている。(図表2-10)

### 【性・年代別】

『そう思う』は、男性の60歳以上(57.3%)、女性の60歳以上(59.5%)で約6割と高くなっている。(図表2-10)

<図表2-10>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別

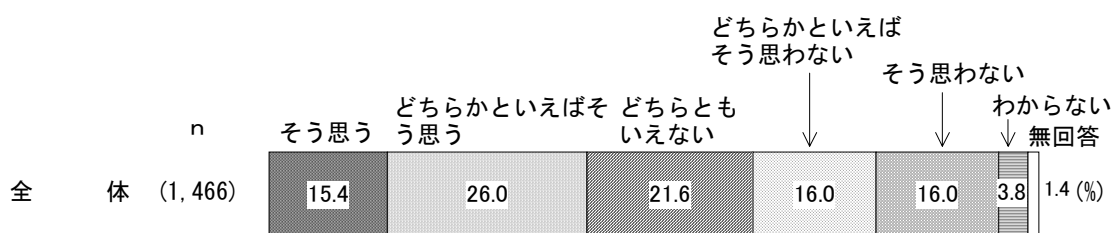


## (6) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』は約4割

問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。  
(○は1つ)

<図表2-11>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(15.4%)と「どちらかといえばそう思う」(26.0%)を合わせた『そう思う』(41.4%)は4割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(16.0%)と「そう思わない」(16.0%)を合わせた『そう思わない』(32.0%)も3割を超えている。(図表2-11)

[参考] 平成17年度・平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	42.4	30.1
平成18年度調査	1,467	38.9	33.3
今回調査	1,466	41.4	32.0

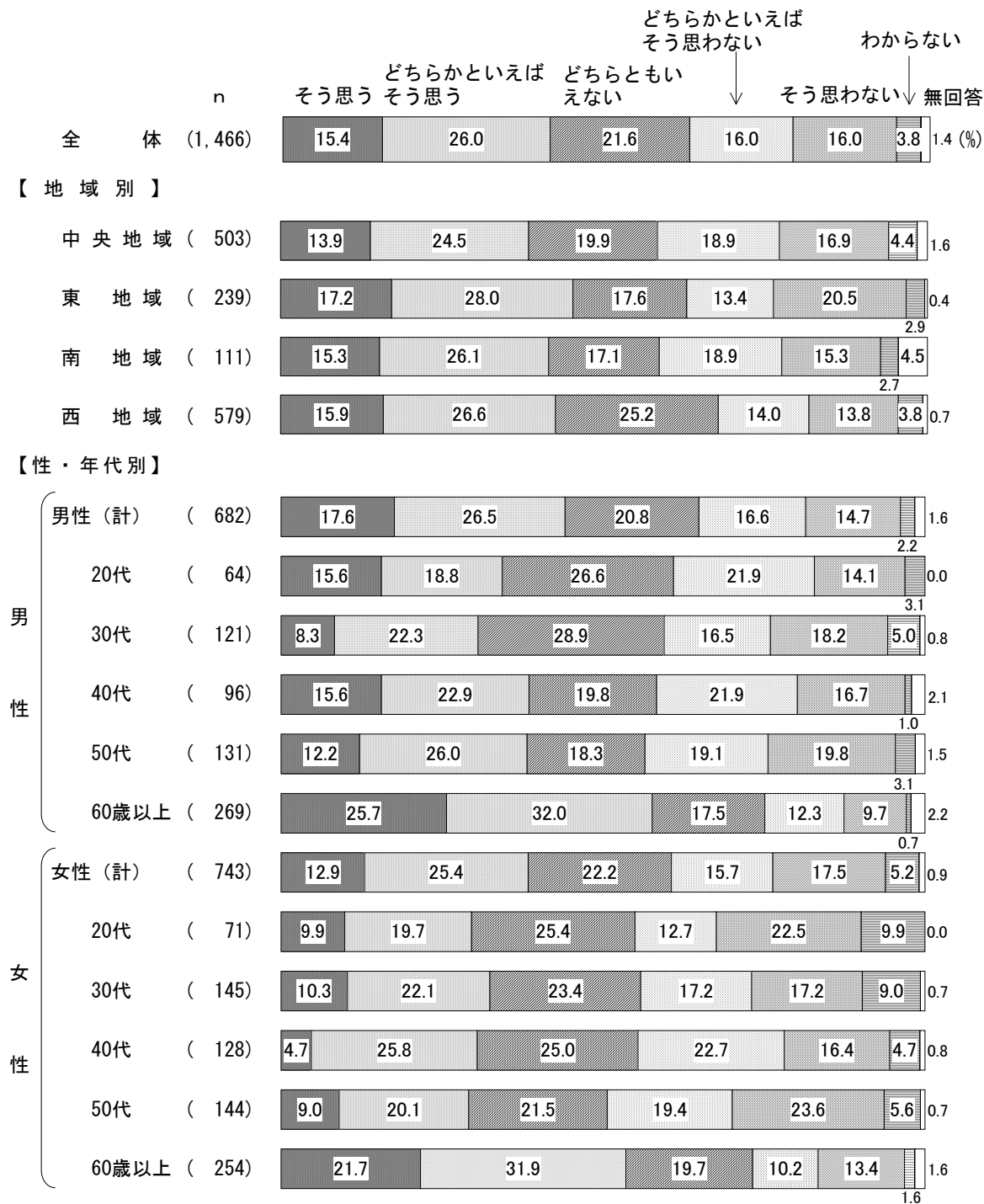
### 【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表2-12)

### 【性・年代別】

『そう思う』は、男性では30代(30.6%)、女性では20代(29.6%)で落ち込んでいる。男女ともに60歳以上で『そう思う』が高く、特に、男性(57.7%)では約6割となっている。(図表2-12)

<図表2-12>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別

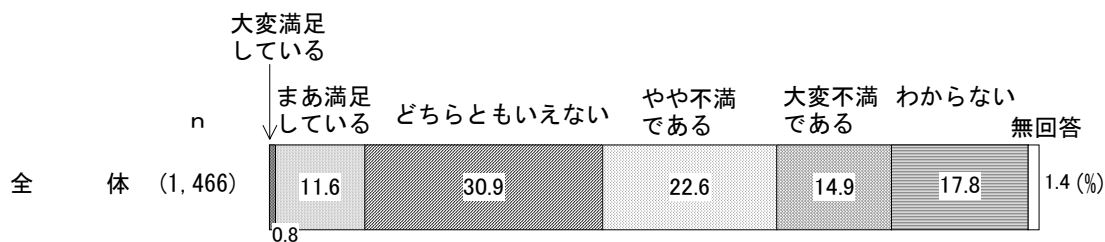


## (7) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度

◇『不満である』が約4割

問15 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について満足していますか。  
(○は1つ)

<図表2-13> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(0.8%)と「まあ満足している」(11.6%)を合わせた『満足している』(12.4%)が1割を超えている。一方、「やや不満である」(22.6%)が2割を超え、「大変不満である」(14.9%)も1割台半ばで、これらを合わせると、『不満である』(37.5%)は約4割となっている。(図表2-13)

[参考] 平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『満足している』	『不満である』
平成18年度調査	1,467	9.4	47.1
今回調査	1,466	12.4	37.5

### 【地域別】

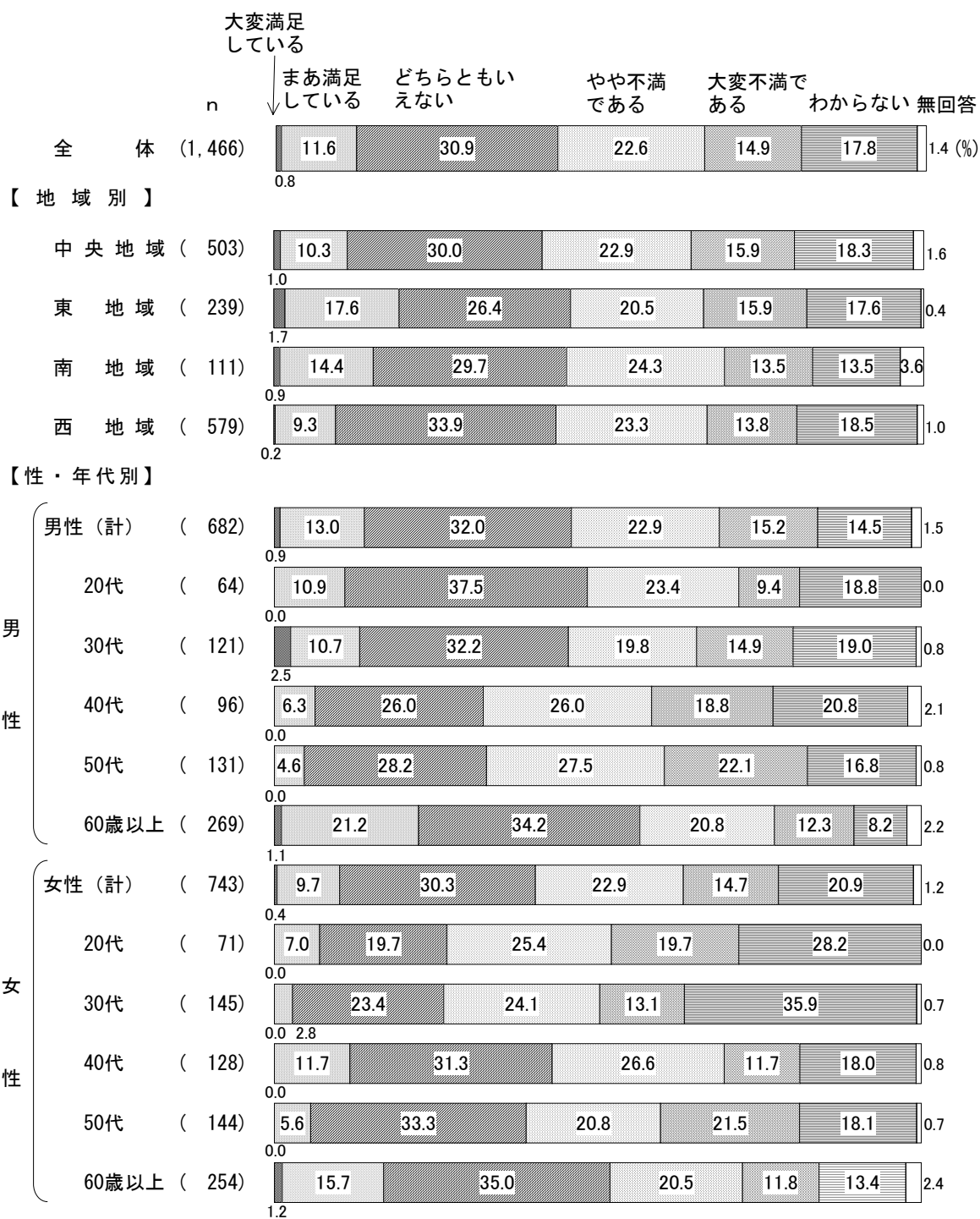
『満足している』は“西地域”(9.5%)が約1割、他の地域も2割未満である。『不満である』は各地域とも3割台半ば以上となっている。(図表2-14)

### 【性・年代別】

『満足している』は、男性の60歳以上(22.3%)で2割を超え、女性の60歳以上(16.9%)で1割台半ばと、他の年代に比べてやや高い。一方、『不満である』は、男性の50代(49.6%)、女性の20代(45.1%)で4割台半ば以上となっている。(図表2-14)



<図表2-14> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度／地域別、性・年代別

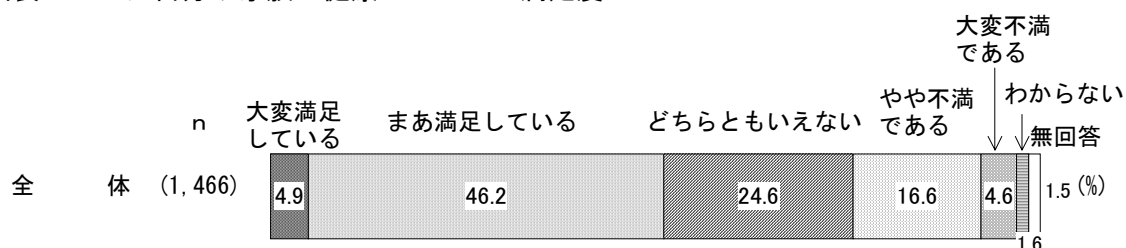


## (8) 自分や家族の健康についての満足度

◇『満足している』が5割を超える

問16 あなたは、自分や家族の健康について満足していますか。(○は1つ)

<図表2-15>自分や家族の健康についての満足度



自分や家族の健康についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.9%)と「まあ満足している」(46.2%)を合わせた『満足している』(51.1%)が5割を超える。一方、「やや不満である」(16.6%)と「大変不満である」(4.6%)を合わせた『不満である』(21.2%)も2割を超えている。

(図表2-15)

[参考] 平成16年度・平成17年度・平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『満足している』	『不満である』
平成16年度調査	1,433	74.7	12.8
平成17年度調査	1,081	55.0	23.9
平成18年度調査	1,467	49.5	28.0
今回調査	1,466	51.1	21.2

### 【地域別】

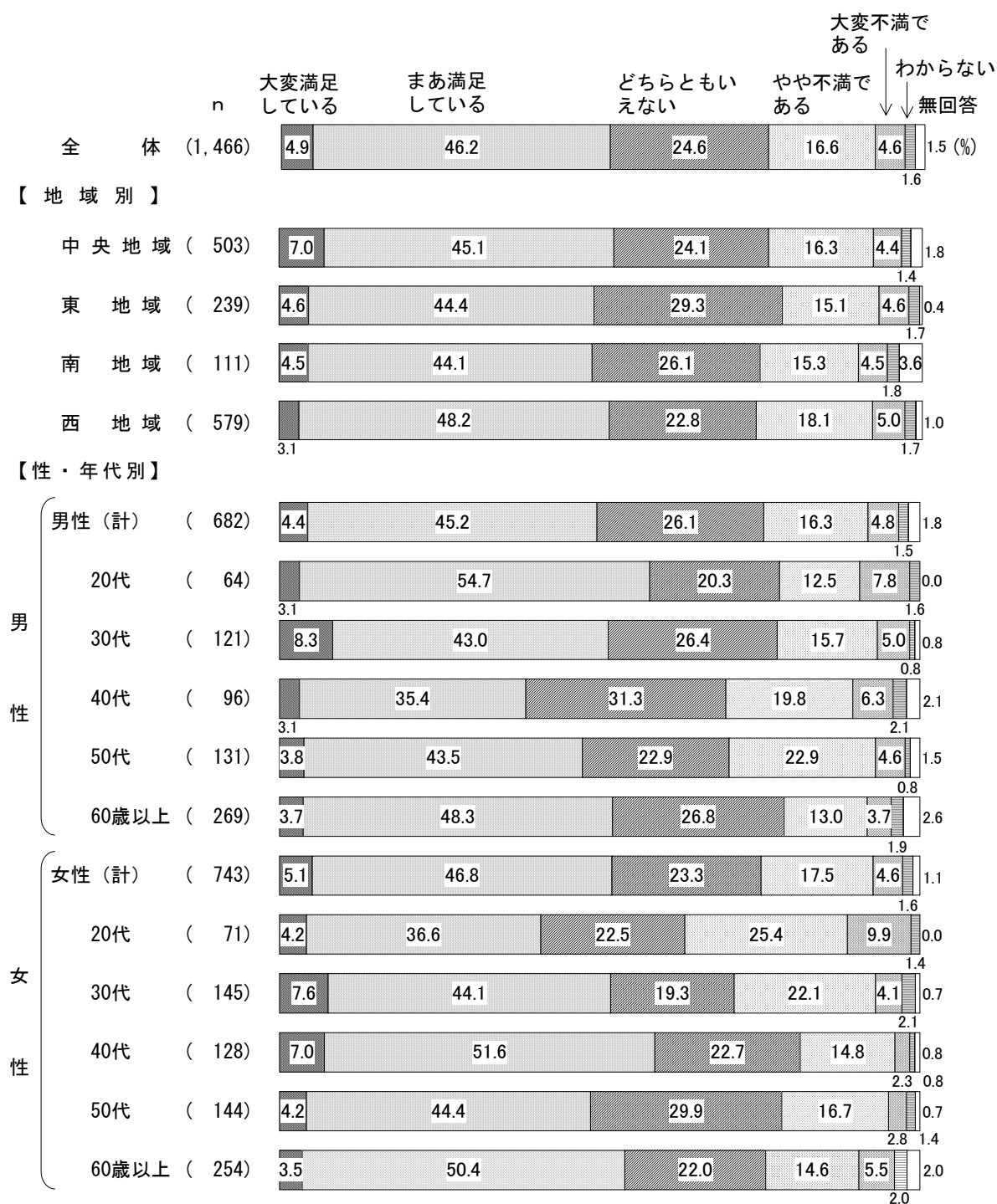
『満足している』は、“中央地域”(52.1%)と“西地域”(51.3%)で5割を超えている。

(図表2-16)

### 【性・年代別】

『満足している』は、男性40代(38.5%)と女性20代(40.8%)を除く各年代とも4割台半ばから約6割になっている。(図表2-16)

<図表2-16> 自分や家族の健康についての満足度／地域別、性・年代別

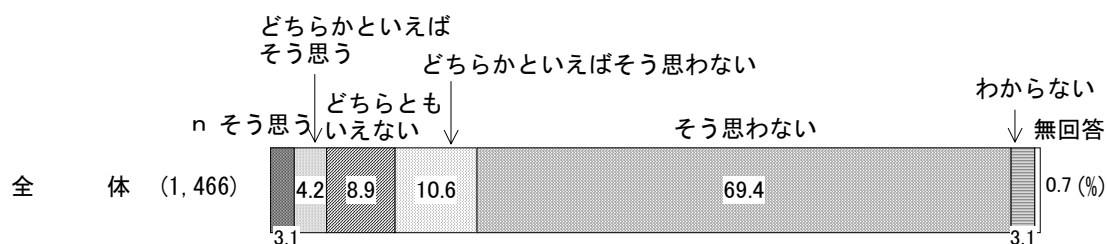


## (9) 理不尽な理由による差別等

◇『そう思う』は約1割

問17 あなたは、自分が日常生活の中で、理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思いますか。(○は1つ)

<図表2-17>理不尽な理由による差別等



自分が理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.1%)と「どちらかといえばそう思う」(4.2%)を合わせた『そう思う』(7.3%)は約1割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.6%)と、最も多い「そう思わない」(69.4%)を合わせた『そう思わない』(80.0%)が8割となっている。(図表2-17)

[参考] 平成17年度・平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	6.3	78.9
平成18年度調査	1,467	7.6	76.0
今回調査	1,466	7.3	80.0

### 【地域別】

『そう思う』は“中央地域”(9.8%)と約1割となっている。『そう思わない』は“南地域”(86.5%)で8割台半ばと高くなっている。(図表2-18)

### 【性・年代別】

『そう思う』に大きな差はないが、女性30代(11.7%)で1割を超えやや高くなっている。

(図表2-18)

<図表2-18> 理不尽な理由による差別等／地域別、性・年代別

